

体験学習をどうぞ 081

2023.4.11(火)

【公立高校入試対策：中学2年数学】

1次関数

速さの問題(第3回)

1次関数の利用、「速さ」の問題をかじっております。

速さの問題(2) 往復する問題

どこへ行くにも、いきっぱなし、ということはありません。
行ったら、必ず、もどってきます。
往復するとういうことになります。
だから、関数にも、「往復する問題」というのがあるわけでして…
生徒A子：「戻ってこんでもいいのに、ったく、
ややこしくなるだけだがや…」
まあ、まあ、ご立腹は、よ〜くわかります。

「往く」問題の傾きを負にすれば「戻る」!

でも、戻るのは、 $y = ax + b$ の a が負の値になるだけでしょ？
進むのと符号が違うだけで、式の形は同じですけど…
生徒A子：「まあ、そうですけどお…」

「往復問題」はダイヤグラムの問題の”出城”

行って、戻って、また行って戻る…
いわゆる、ダイヤグラムの問題ですね。
1次関数も、この程度でないと入試に出ても
問題が恥をかきます。
生徒A子：「ぎゃははハハ…
問題って恥をかくの？」
はい、問題も恥をかいてもいいと思うのですが…
生徒A子：「うん、いいけど…」
そんなこと、どうでもよろしい、
つまり、進む問題と往復問題で
ダイヤグラムの基礎をやっていることになるわけです。
敵は”ダイヤグラムの問題”なんですね。

「往復問題」は、いわば”出城”だから、
これを落としても勝ったことにはならないのです。
ようするに、先は長い、ということです。

というようなわけで、
ダイアグラムの問題を攻めるためにまず、「往復する問題」を落とします。

生徒A子：「はい！

落としましょうて！」

…ム j m

わかってるのかね、この子は…！？



中2 数学・1次関数 No.3 5

3 速さの問題（その2）

体験学習

■ 往復する問題 ■

★スマホの機種によっては、体験学習へのリンクができないものがあります。その場合には、PCでご覧下さい★

■ **演習問題は、数専ゼミ・山形・東原教室で個人指導を受けることができます** ■

■ 「中2 数学・1次関数」★ 学習計画書 ★

([ブラウザのバック矢印](#)でこの文書に戻ることができます。)

入試の1次関数に強くなる数専ゼミの関数指導

数専ゼミ・山形東原教室

〒990-0034 山形市東原町二丁目10番8号

TEL: **(023)633-1086** / FAX: (023)633-1094

メールアドレス: suusen@seagreen.ocn.ne.jp